



がんプロ学生・ 修了生の 専門医資格取得を サポートします！

①「専門資格取得アドバイザー」による、個別相談

九州がんプロに参画する大学の教員・医師が、各種資格の取得に関する質問や相談にメール等で随時対応します。お気軽にご連絡ください！

※アドバイザーのリストはホームページを参照。連絡先は、各大学がんプロ担当事務まで。

②日本臨床腫瘍学会「がん薬物療法専門医」症例実績報告書の添削を行います

- 対象：九州がんプロ学生・修了生で「がん薬物療法専門医」に申請予定の方

- 申込：

- (1) 管理者あてに「症例実績報告書」をメールで提出。
添削は、複数回に分けて依頼することも可能です。
- (2) 管理者が、九州がんプロ内の「作成支援医師」へ添削を依頼。
添削後、管理者から報告書を返却します。
- (3) 受付後、添削した報告書の返却まで、2週間ほどかかります。
余裕を持ってお申し込みください。

「がん薬物療法専門医」の申請締切は、7月31日（水）。その他は、日本臨床腫瘍学会のホームページ（<http://www.jsmo.or.jp/>）をご覧ください。

- 注意：

この作成支援は、あくまで補助的なものであり、書類審査の合格を保証するものではありません。専門医の申請に当たっては、自身が所属する施設の指導医等にも確認を頂くよう、お願いします。

受付締切
7/10(水)

管理者：九州大学大学院医学研究院連携腫瘍学分野

q.renkei@gmail.com

がんプロでは、学生・修了生の 専門医資格の取得を 強く推奨しています。

文部科学省の『次世代のがんプロフェッショナル養成プラン』事業では、がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、がん予防の推進を行う人材、新たな治療法を開発できる人材の育成が求められています。

九州がんプロでは、**日本臨床腫瘍学会「がん薬物療法専門医」**、**日本放射線腫瘍学会「放射線治療専門医」**をはじめ、各種専門医資格の取得を強く推奨しています。

「がん薬物療法専門医」の認定試験には、病歴要約、筆記試験、口頭試問があり、臨床腫瘍学に関する総合的な知識が求められます。九州がんプロでは、自分が普段あまり経験しないがん種の病歴要約についても、それぞれの分野のエキスパートの先生方が添削をしてくださり、文献からは得にくい知識を学ぶことができました。

日本臨床腫瘍学会では、専門医取得前は教育セミナーを、専門医取得後もBest of ASCOやがん免疫療法エキスパートセミナーなどを開催しており、日々変化するがん薬物療法の知識をアップデートする機会も充実しています。



九州大学病院
伊東守先生

九州がんプロでは様々ながんの診療を経験し、各癌腫の専門の先生方の充実した講義により基礎医学から臨床まで幅広く学ぶこともできました。「がん薬物療法専門医」の認定試験の受験資格も得られ、専門医取得後は九州大学病院において外来化学療法室の運営や院内の化学療法レジメンの審査を担当し、肺がんのみならず全領域のがん診療をサポートする業務に携わりました。

2019年度からは地域がん診療連携拠点病院でがん診療に携わっておりますが、エビデンスに基づいた化学療法や支持療法を行う上で、九州がんプロでの経験が大変役立っています。また、臨床研究に積極的に参加し、新たなエビデンスの構築に貢献することもがん薬物療法専門医としての使命と考えています。



北九州市立
医療センター
大坪孝平先生

これまでの支援者
全員合格！

その他、資格を取得した先輩方からのメッセージは
ホームページ「**修了者の声**」で公開中です。
ぜひご覧ください！